

油脂、及び石けん・洗剤の原料に関する 新規用途開発研究助成

2025年度研究助成者募集要項

日本石鹼洗剤工業会は、欧州を中心とするバイオディーゼル燃料（BDF）普及による副生グリセリン増加を背景に、「グリセリン新規用途開発研究助成制度」の募集を2007年より開始し、研究機関や大学等教育機関でのオレオケミカル研究者の創出・育成に役立つ制度を目指し、継続してまいりました。

しかしながら、助成の開始より10余年が経過し、グリセリンを取り巻く環境が大きく変化し、また、カーボンニュートラルへの取り組みは、油脂産業に関わる企業にとっても、重要なテーマとなっています。

時代の変化に鑑み、2023年度募集より、対象とする研究の範囲を拡大し、新たに「油脂、及び石けん・洗剤の原料に関する新規用途開発研究助成」として募集しており、第3回となります。

1. 対象研究

日本石鹼洗剤工業会に資する研究、石けん・洗剤のサプライチェーン上にある研究とします。

なお、近い将来に成果が期待できる開発研究だけでなく、当業界を支える基礎研究も対象とします。

主な研究対象（国内での研究に限る）

- 1) 油脂製品、および油脂を原料とする製品（脂肪酸・グリセリン・アルコール・アミン等）の新規用途開発研究（新規化学物質，新規応用研究）
- 2) 油脂製品、および油脂を原料とする製品（脂肪酸・グリセリン・アルコール・アミン等）を出発原料とした有用化学製品の開発研究
- 3) 非食用油・非食用油糧作物（藻類など）から産油する技術など、原料油脂の新たな調達方法や新規生産技術に関する研究
- 4) 油脂製造プロセスにおける、脱炭素・循環型経済実現などの社会課題解決に寄与する研究
- 5) CO₂の吸収・貯蔵に資する油糧作物・藻類とその生産プロセス、用途開発の研究、CO₂の変換効率の高い油糧作物・藻類等の研究

2. 対象者（応募資格）

国内の大学、高専又は公的研究機関等に所属する研究者。

研究グループの一員の場合は主体的な研究者に限ります。

一度本助成を受けられた研究者の応募も受け付けます。

3. 助成金額と件数

助成金額は1件100万円、2件を上限とします。

4. 助成金の使途と期間

使途については、申請研究のみに使用するものとし、1年間で使い切るものとします。

5. 応募方法、選考方法および選考結果の通知

- 1) 日本石鹼洗剤工業会のホームページ (<https://jsda.org/>) より応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上事務局までメールにてご提出下さい。
- 2) 募集期間は2024年6月1日～8月31日とします。
- 3) 助成研究の選考は日本油化学会に委託し、当工業会理事会で決定します。
- 4) 選考結果は、2025年1月末日までに申請者に通知致します。
- 5) 研究助成金は、2025年4月末日までに研究助成該当者に交付します。

6. 研究成果について

- 1) 研究の成果および会計報告は、助成年度の終了時（2026年3月末日）までに当工業会に文書で提出していただきます。報告用紙は助成決定後に送付します。
- 2) 研究成果は、当工業会油脂製品部会（2026年7月予定）で本人が口頭発表していただきます。
- 3) 油脂製品部会での発表後、助成金による研究成果を学術誌に発表する場合は“日本石鹼洗剤工業会の助成による”旨を書き添えて下さい。また、石洗工に1部送るものとします。
- 4) 権利化できる発明の取扱いについては、当工業会は関与をいたしません。

7. 問合せ、申込み先

この件に関するお問合せ・申込み等は、下記工業会事務局までメールにてお願いいたします。

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-13-11 日本石鹼洗剤工業会 事務局・高岡

Email : research-grant@jsda.org

8. ご参考

油脂関連では、本研究助成の対象の他に、一般財団法人油脂工業会館による下記研究助成もございます。対象研究、対象者が条件を満たしていれば、どちらにも、応募は可能です。

<https://www.yushikaikan.or.jp/system.html>